

新刊レポートのご案内

中国の医薬品事情を掴む必読の一冊としてお勧め致します

中国医薬品市場レポート2004

25年間連続2ケタの成長を成し遂げている中国医薬品市場を展望

編集・発行	株式会社ユート・ブレン	2004年10月12日発売
体裁	A4判、バインダー縦綴じ	100頁
構成	レポート本文編（80頁）及び資料編（20頁）	
定価	105,000円（税込み・送料弊社負担）	

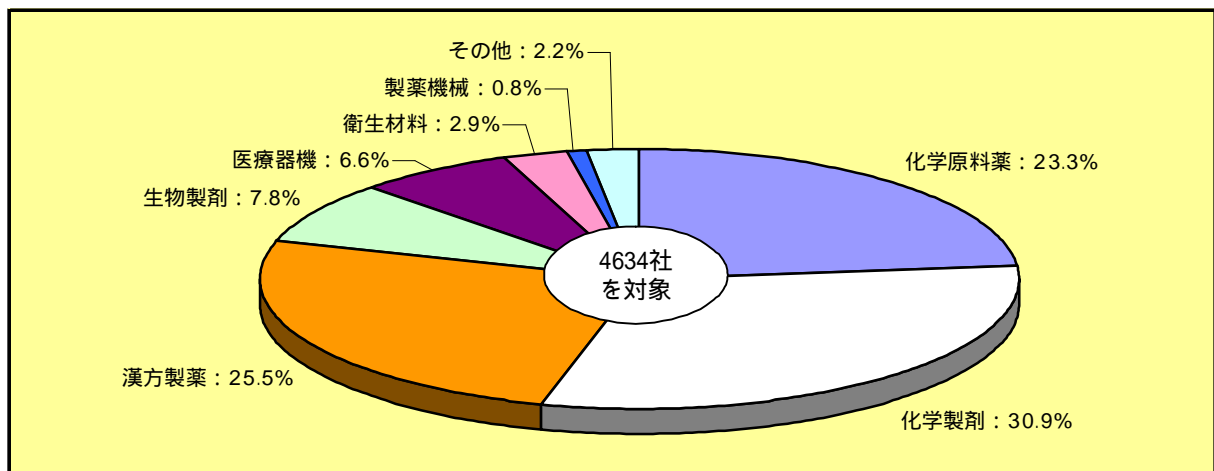
中国政府がまとめた資料によると、2003年度の医薬品工業販売額は前年度より19.1%増の2962億元（約3兆8000億円）であることが明らかになりました。これで25年間連続2ケタの成長を続けており、中国医薬品市場の好調ぶりを改めて示しています。特に中国に進出している外資系製薬企業の市場シェアが確実に拡大しており、今後この状況が続くと思われま

す。本レポートでは、最新の中国医薬品市場の実態や動向、医療用医薬品に関するデータ、外資系流通企業の参入及び外資系製薬企業の活躍、上位医薬品企業の販売ランキング -- など、中国に進出、進出を予定している製薬企業・医薬品卸、または輸出入業者や関連企業にとって欠かせない情報を簡潔にまとめています。

レポートの主なポイント

世界で類を見ない25年間連続2ケタの成長を続けている巨大な中国医薬品市場
主要都市部の薬剤使用上位30社の中で6割は外資系（合弁）企業が占めている
加速する医薬品流通再編の中で日本の医薬品卸企業も動き始めようとしている
国民衛生費の伸び率はGDP（国内総生産）成長率を大きく上回っている
バイオ・ハイテクパークの狙いは外資系企業誘致と優秀な人材を呼び戻すこと
4割に上ると言われるGMP未承認の「生産停止」は市場にどのような影響を与えるのか
多重価格が存在する中国の薬価制度は外資系企業にどんな影響を与えるのか

< 中国医薬品市場の構成 >



「中国医薬品市場レポート 2004」の内容

【第1章】医薬品市場の動向

2003年における医薬品の販売状況
 医薬品に関する輸出入の状況
 製薬企業の売上ランキング
 製薬企業の形態及び業種の構成
 医薬品小売価格指数が下げ止まらず
 小売価格指数一覧(110品目)
 日本企業買収に名乗りを上げる三九企業集団
 GMP未承認企業の「生産停止」の市場への影響

【第2章】バイオ産業の現状と研究開発

バイオテクノロジー産業の現状
 最大の国有系バイオテクノロジー企業
 研究開発の人材不足が大きな要因
 バイオ医薬産業基地の建設ブーム
 医薬品の研究開発の事情
 期待される外資系研究施設
 新薬の申請・承認状況
 後発品の申請・承認状況

【第3章】医療用医薬品の使用実態

主要都市における医薬品の使用概況
 レボフロキサシンが2年連続トップ
 輸入医薬品の減少傾向が続く
 再び上昇に転じる抗生剤の使用
 上位5大薬効は医薬品市場全体の8割
 外資系企業がリードする抗真菌剤
 目立つ外資系企業製品の強さ
 高脂血症治療薬(スタチン剤)の状況

【第4章】不透明な薬価政策

24成分の抗生剤の小売価格を公表
 単独価格設定に関する規定
 日本製薬企業の単独価格
 多重価格が存在する中国の薬価制度
 抗生剤の小売販売への規制強化

【第5章】医薬品流通事情

加速する医薬品流通市場の再編
 2003年の医薬品卸の販売状況
 医薬品卸企業の販売ランキング
 医薬品卸販売上位10社の概況
 GSP(医薬品流通の基準)の法制化
 急増するチェーン薬局

【第6章】医療データの解析

GDP成長を上回る国民衛生費の上昇率
 増え続ける衛生費の個人負担
 2年連続で減少する医療機関数
 医療従事者から見た地域の較差
 在院日数・医療費・薬剤費
 病院の経済収支状況

【第7章】参考資料

省・自治区・直轄市別の医療関連データ
 16都市の主要病院の薬剤使用上位50品目
 日本から中国に輸出する製品一覧
 21成分医薬品の最高小売価格の指導価格
 売上高上位30社の主力製品(上位3品目)
 医薬品経営品質管理規定(GSP基準)

お申し込み・お問い合わせ先:デンドライト ジャパン株式会社 ユート・ブレーション事業部 担当:沈(しん)
 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-1-11 繊維会館 TEL 03-3270-8742 FAX 03-3270-8700

----- 切り取り線 -----

< 申込書 >

年 月 日

中国医薬品市場レポート2004			部
貴社名			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
部署		お名前	フリガナ
E-mail			
備考			
お申し込みはFAXにて.....03-3270-8700			